

3. 選 抜 方 法

〔1〕大学入試センター試験の利用教科・科目等

大学入試センター試験の利用教科・科目及び利用方法は、別表（10～11ページ）のとおりです。

大学入試センター試験の理科②の試験時間において、2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

大学入試センター試験の数学②の出題科目「工業数理基礎」については、旧教育課程（平成11年文部省告示第58号の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した者のみ選択することができます。

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 （高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成28年3月卒業見込みであるが、入学は平成25年3月以前の者など、上記に該当しない者）

〔2〕個別学力検査等の実施教科・科目等（医学部医学科のみ）

個別学力検査等の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表（10～11ページ）のとおりです。

〔3〕大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等は、別表（10～11ページ）のとおりです。

〔4〕各学部の選抜方法等について

【法 学 部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。
- ・ 大学入試センター試験で、数学、外国語の2科目を受験している場合には、高得点の教科の成績を用品います。
- ・ 大学入試センター試験で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 調査書については、地歴・公民の成績を重視し、さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ・ 調査書（評定平均値は出願要件であり特記事項のみを評価します。）及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。
- ・ 大学入試センター試験で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か

団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

【医学部】（医学科）

- ・ 学校長から提出される推薦書及び調査書の内容並びに本学部が実施する小論文及び面接の結果を総合的に判断し、大学入試センター試験の成績を参考にして合格者を決定します。
- ・ 大学入試センター試験の『英語』は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

《合否判定基準》

ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

イ 本学が指定した大学入試センター試験の成績が本学の定める基準に満たない者は、成績の如何にかかわらず不合格とします。

ウ 県民医療推進枠にあつては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します。

※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては、応じられません。

① 小論文

小論文は、単なる作文力のテストではなく、学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに、大学入試センター試験ではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。

小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。

② 面接

面接は、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。

なお、志望理由書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。

県民医療推進枠を志願する者は、通常の面接に加え、香川県による面接を受ける必要があります。

【工 学 部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。
- ・ 大学入試センター試験の理科について、基礎を付さない科目から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。本学が別表（10～11ページ）で指定する科目を第1解答科目として受験していない場合は、出願することができませんので、注意してください。
- ・ 大学入試センター試験で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報技術検定、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。